

# 16<sup>th</sup> WPI IIS Seminar

## 「低分子化合物の動物試験投与液、 および薬物動態」

私の研究のバックグラウンドは、製剤学・薬剤学です。武田薬品工業で錠剤等固形製剤の処方設計、プレフォーミュレーション研究(製剤化の前の物性評価)を経て、1997年から約10年間、創薬段階における探索的物性・ADME/Tox (Absorption, Distribution, Metabolism, Excretion, Toxicity)評価を行ってきました。

以上の経験をもとに、主に難溶性低分子化合物の動物試験投与液の話を中心に、薬物動態の話も交え創薬初期段階での化合物選びの注意点をご紹介したいと思います。(投与後の血中濃度が上がらなかったり、バイオアベイラビリティが低い場合でも、実は必ずしも溶解度が低いことが原因ではなく、分布容積が非常に大きかったり、代謝速度が速いことに依ることもあります。このケースの化合物の方が多いかもしれません。このような内容も紹介したいと思います。)



**演者:** 筑波大学 産学連携本部  
技術移転マネージャー  
**堀部秀俊 先生**

**日時:** 2013年5月14日(火) 午前11時-12時

**場所:** 筑波大学 健康医科学イノベーション棟4F 402号室



# IIS

INTERNATIONAL INSTITUTE FOR INTEGRATIVE  
SLEEP MEDICINE



**お問い合わせ: 国際統合睡眠医科学研究機構**  
**電話: 029-853-5857 (内線. 5857)**